

# 週目点

川本 裕子 早稲田大学教授



## ▶新型インフルエンザで訓練 危機管理の体制万全に

政府は五日、新型インフルエンザ対策の総合訓練を徳島県と合同で実施する。新型インフルエンザへの変異が懸念されている鳥インフルエンザは感染の拡大スピードが極めて速く、致死率も高い。宮崎県で鶏の大量感染死が確認される中、予防対策訓練は時宜にかなうものだ。

人口密集地域で新型インフルエンザの感染が深刻化した場合、経済システム全体に重大な影響が及ぶ。国際通貨基金（IMF）も最近、国際的な危機管理体制を強化しようとしている。英国では多数の金融機関が参加して、出勤者が少なくとも決済システムや株式市場が機能しうるか模擬演習を実施したという。

金融だけでなく電力や通信などの基礎的なインフラについても、外出禁止措置などの下で機能を維持するために必要な手立ては何か、政府が責任を持って解明し、危機に備えておく必要があるだろう。「安全な国」の基本は「備えあれば憂いなし」である。

(C) 日本経済新聞社 無断複製転載を禁じます。